

# 雇用主 障害者雇

多くの事業主が障がい者の  
積極的に障がい者を雇用  
実際の仕事ぶりや雇用時に  
障がい者を雇用するため



## ジョブコーチの支援が 障害者雇用の不安を払拭した

エイケン工業株式会社 櫻井英司 取締役部長

従業員数は約 240人。うち身体障害者 1人、知的障害者 2人、精神障害者 1人  
の計 4人を一般雇用。

昭和42年創業のエイケン工業株式会社は、主に自動車用フィルタやガスバナーを専門に取り扱う企業です。総務部長の櫻井英司さんは、「私たちは、地域に根ざす企業となるために障害者雇用を進めています。障がいのある従業員の仕事の成果に関しては、他の従業員と比べてもほとんど見劣りしません」と目を細めて話します。

仕事を教える際に何回も同じ事を伝える必要があったり、ミスが出てしまったりすることに關しては「それは他の従業員も同じことです。上司や先輩が従業員の仕事ぶりを確認しながら何回も教えることが大切だと考えています」と話す櫻井さん。障がい者その他の従業員を区別する様子は全く感じられません。同社では、「障がい者への指導の仕方が分からない」という悩みが社内から寄せられていました。そんな中、櫻井さんは厚生労働省静岡労働局から届いたパンフレットの中のジョブ

コーチに関する情報を見つけ、すぐに電話を掛けたといいます。

ジョブコーチとは、障がい者が円滑に就労できるような職場内外の支援環境を整える人のことを指します。櫻井さんは「連絡したらすぐに対応してくれました。いただいたノウハウは現在でも生きています」と語ります。

現在、積極的に障がい者を雇用しようとしている企業は多くありません。これについて櫻井さんは「確かに障がいのある人を雇用するということは簡単なことではありません。しかし、障がいのある人の仕事におけるミスを減らすため、視覚的に判断しやすいような工夫をしたり、障がい者の特性に合わせた仕事を留意したりしてその人ができることに着目すれば、雇用は増えていくと思います。障がいのある人の雇用が不安な企業は、ぜひジョブコーチの話だけでも聞いてみてほしいですね。今後も障害者雇用を進めていきたいです」と話します。



▲視覚で判断しやすくなるよう、手元に置かれた製品サンプル



製造第二部 製造四係  
杉山武史 係長

### 周囲の気遣いがあれば能力を発揮できる

障がいのある従業員も、他の従業員と同じように真面目に一生懸命働いてくれます。

仕事の仕方や手順の教え方については、特に変わりはありません。

筋道を立ててレクチャーしたり、本人の許容範囲を超えないように配慮したりすれば、私たちの予想をはるかに超える仕事ぶりを見せてくれるので助かっています。